

We can do it!

栗生小学校 5年生
令和5年11月9日
第24号

★★★★★全力！成長！輝いたマラソン大会！★★★★★

先日、マラソン大会を行いました。子どもたちはこの日まで、自分に合った目標を立て、日々の練習に励んできました。5年生のマラソン大会の目標は「We can do it ～みんなが全力を出し切り、チーム5年生に近付こう～」。仲間と励まし合いながら、最後まで一人一人が全力で走りました。「しんどくてやめたい」「止まってしまいたい」そんな気持ちになってしまったとき、下級生や友達、お家の方、地域の方の応援が力になったそうです。最後まであきらめず、全力で頑張る姿に成長を感じ感動しました。友達がしんどい時、5年生の全員が迷わずそばに駆け寄り、声を掛けながら一緒に走る姿はまさに輝くチームでした。



オリンピックの木村選手とパシヤリ



全力の姿 かつよかったよ！



とても輝いていました！！



男子1位 高尾くん



女子1位 鳥井さん



今日のマラソン大会に元オリンピック選手の木村文子選手が来てくれました。私は、木村選手が子供の頃、マラソンが苦手だったという話を聞いて、私もマラソンが嫌だと思っていたけれど、少しがんばってみようという気持ちになりました。走り始めると、やっぱり校外三週はしんどくて、あきらめかけました。でも、私があきらめなかったのは、低学年や家族、地域の方の応援があったからです。そして、自分で自分に「わたしはできる」と言い聞かせながら最後までがんばったからです。

私がゴールした後、友達が「まだ、ゴールしていない人を迎えに行こう！」と誘ってくれて、まだゴールしていなかった友達を5年生のみんなが応援しながら一緒に走りました。その瞬間、私は5年生がチームになって輝けたと思いました。来年も最後まで諦めず走り切りたいです。

平岡 琉愛

今日、マラソン大会がありました。最初に、一、二年生の応援をしました。一、二年生で一位になった子は、最後まで走り切っていたのでほくもまねしたいと思いました。次に、三、四年生の応援をしました。四年生の子がゴールの手前ですごい速さで走っていて、走るときは最後までペースを落とさないことが大切だと思いました。

そして、ついに僕が走る番になりました。グラウンドを一周すると、だんだんと疲れてきてペースが落ちました。校外の二周目が終わろうとしたとき、ぼくは転んでしまいました。腰のところが打って傷になりました。触るとすごく痛くて、腰に手を当てながらゆっくり歩いて進んでいました。ようやく学校が見えてきたとき、友達が僕のところへ駆け寄って来てくれました。うれしかったです。どべになっただけ、うれしかったです。来年は、もっと体力をつけてがんばりたいと思いました。

藤原 昂大